

第37回中東協力現地会議基調講演 2012年8月27日(月) シェラトン・ドーハ

中東新秩序と新冷戦

——シリア情勢を中心に

山内昌之 東京大学名誉教授

序 現代中東の変容と「アラブの春」の歴史的背景

I イスラーム史と中東政治におけるシリアの位置

II シリア危機の背景と基盤

III 新冷戦の構造におけるシリア危機とロシア

IV 「終わりの始まり」、ロシアとイランの役割

V トルコ・シリア・イランの「非神聖トライアングル」

おわりに 中東の新秩序とシリア問題

講演者紹介：

山内昌之（やまうち・まさゆき）

東京大学名誉教授

1947年札幌生まれ。1976年北海道大学大学院博士課程中退。東京大学学術博士。

カイロ大学客員助教授、聖心女子大学講師、東京大学助教授・教授、トルコ歴史協会研究員、ハーバード大学客員研究員、筑波大学客員教授、政策研究大学院大学客員教授などを歴任。2012年3月まで、東京大学大学院教授・東京大学中東地域研究センター長。

現在、明治大学特任教授・フジテレビジョン特任顧問・三菱商事顧問を務める。

2006年4月、紫綬褒章を受章。他に発展途上国研究奨励賞、サントリー学芸賞、毎日出

版文化賞（2回）、吉野作造賞、司馬遼太郎賞などを受賞。専門は国際関係史とイスラーム地域研究であるが、近年では日本の歴史や内政についての文明論的批評も試みている。

主要著書に『イスラームとアメリカ』（岩波書店、1995年）、『イスラームと日本政治』（中央公論新、2000年）、『岩波イスラーム辞典』（共編、岩波書店、2002年）、『歴史と外交』（中央公論新社、2007年）、『幕末維新から学ぶ現在』1・2・3（中央公論新社、2010、2011、2012年）、『リーダーシップ』（新潮新書、2011年）、『中東 新秩序の形成』（NHK出版、2012年）、『帝国とナショナリズム』（岩波書店、2012年）、『歴史を見る眼を養う 世界史』（朝日新聞出版、2012年）など。

日本政府中東文化ミッション団長として中東各国を3回訪問した（2003-2005年）ほか、外交問題に関する小泉純一郎首相の私的諮問機関「対外関係タスクフォース」委員（2001-2007年）や安倍晋三内閣の「美しい国づくり」企画会議座長代理（2007年）や麻生太郎内閣の「安心社会実現会議」委員（2009年）、日本アラブ対話フォーラム委員、日本カナダ・フォーラム委員、外務人事審議会（外務省）、文化審議会（文部科学省）、総合資源調査会（経済産業省）などの委員も務めた。現在、日本学術会議連携会員、中東調査会常任理事、読売新聞社調査研究本部客員研究員、世界平和研究所研究顧問のほか、経団連アカデミックアドバイザーなどの委員、トヨタ財団やサントリー文化財団や中東協力センターはじめ各学会や財団の理事・評議員も務める。